

2019年12月30日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

播磨科学公園都市における自動運転公道実証に参画

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、12月5日から12月9日に行われた播磨科学公園都市における自動運転公道実証（以下、本実証）に参画しました。

1. 背景

損保ジャパン日本興亜は8月19日に「播磨科学公園都市内における自動運転技術を活用した新たなモビリティサービスの実用化に向けた連携協定※」を締結しています。本実証は本協定に基づき参画しました。

※詳細は https://www.sjnk.co.jp/~media/SJNK/files/topics/2019/20190820_2.pdf をご参照ください

2. 概要

本実証は次世代モビリティサービスの実用化と地域交通の利便性向上を目的としています。自動運転の技術実証だけにとどまらず、地域旅客運送事業者が運行主体として参画し、サービスモデル構築を視野に入れた運行を、4行政・7企業・1大学（別紙、実施機関一覧表に記載）が行いました。車両は、埼玉工業大学が研究に使うマイクロバスを使用し、播磨科学公園都市内の公道（往復約6km）を非遠隔型自動運転で運行（40分間隔）しました。都市内ではこのほか、限定区域内で小型自動運転EV車をドライバーなしで運行する乗車体験も行いました。

3. 実証における当社の役割と今後について

損保ジャパン日本興亜は、次世代モビリティが安全に自動走行するための「リスクアセスメント」と、本実証が安全に運営されるためのサポートを行いました。また、本実証の当日は、東京都中野区に設置している「コネクテッドサポートセンター※」と通信接続し、自動運転走行に対する「見守り」対応のデモを行いました。

損保ジャパン日本興亜は、自動運転車の社会実装を見据え、多くの自動運転実証に参画することにより、「安心・安全」な自動運転実証を支えるインシュアテックソリューションの開発を進めていきます。

※2018年9月28日に開設した自動運転車の事故・トラブル対応サービス研究拠点です。

詳細は https://www.sjnk.co.jp/~media/SJNK/files/news/2018/20180928_1.pdf をご参照ください。



実施機関一覧

行政機関	
兵庫県（企業庁、西播磨県民局）	事業統括、実施フィールドの調整等
たつの市	基礎自治体としての協力
上郡町	
佐用町	
実施機関	
神姫バス株式会社	運行管理
株式会社ウエスト神姫	
アイサンテクノロジー株式会社	実証運行全体調整、高精度3次元地図作成
埼玉工業大学	自動運転車両提供等（アイサンテクノロジー（株）の協力先として参加）
株式会社ティアフォー	自動運転に係る技術提供、および自動運転実証実験のオペレーション支援
ダイナミックマップ基盤株式会社	高精度3次元基盤地図データの提供、地図利用の検証
KDDI株式会社	通信ネットワークの提供及び通信エリアの評価
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	リスクアセスメント（事故の予防）と走行中の安心見守り（事故の監視）

以上